2022年（令和4年）12月20日発行

公益社団法人 羽咋市シルバー人材センター
安全・適正就業委員会
〒925-0054 石川県羽咋市千里浜町カ1番地20
TEL（0767）22-2700 FAX（0767）22-7306

第２３号

安全だより

羽咋市シルバー人材センターの公式LINEができました。
みなさんに最新の安全情報をお届けします。

チエブクローのアイコンが目印

★友だち追加をお願いします⇒

主催：安全・適正就業委員会　安全パトロール

安全パトロールにご協力いただきありがとうございました

6月から10月にかけて、安全・適正就業委員が12件の就業現場を巡回し、「安全保護具の着用」「就業途上の交通安全」等を呼びかけました。引き続き事故ゼロを目指して、安全就業の徹底にご協力をお願いします。

主催：羽咋郡市交通安全協会　高齢者ドライビングスクール

あなたの運転は大丈夫？講師が運転内容を丁寧にアドバイス

11月22日（火）千里浜なぎさドライビングスクールで、高齢者ドライビングスクールが開講されました。

当センターからは7名の会員が参加し、日頃の自動車の運転内容を改めてチェック。みなさんが事故にあわず、毎日を元気に過ごすためにも積極的な受講をお勧めします。

事故報告

令和４年９月１５日の報告以降、１件の接触事故が発生しました。（詳細は裏面）
今年度の事故累計件数は９件です。（※昨年同月累計件数は６件）

冬場は路面の凍結等による転倒事故が多くなります。就業中はもちろん、就業途上も注意し、「安全は全てに優先する」「自分の身は自分で守る」意識を心掛け、無事故就業を目指しましょう。

現場では必ずヘルメットを着用しています

今年は蜂の活動が活発な年でした

当センターで発生した事故状況報告

No.	事故発生日	事故区分	事故のあらまし
9	１２月１０日（土） 男性・６４歳	賠償保険 （就業中）	マイクロバスで生徒を送迎後、学校へ戻るために市道を直進で走行中、道路にはみ出ていた松の枝に左サイドミラーが接触、破損した。車内には運転手以外乗車しておらず、怪我人はいなかった。

全国のシルバー人材センター（県外）で発生した重篤事故

（公社）全国シルバー人材センター事業協会が毎月発行している「安全就業ニュース」より、全国（県外）で発生した重篤事故の一部を抜粋して報告します。

１０月までの重篤事故累計件数は１８件で、令和３年度の１４件より５件の増加となっています。安全帽の装着や、墜落制止用器具（安全帯）の装着により守れる命があります。

・事故の概要（就業中）

４尺三脚の下から２段目か３段目に上り、チェーンソーを使い首の高さで貝塚伊吹の枝落とし作業をしていたところ、キックバックを起こし刃が首の左側に刺さった。搬送時には意識があったが、救急車の中で心肺停止状態となり、死亡した。

・事故の原因

チェーンソーの使用は地上のみとし、水平な箇所以外での作業を禁止する安全・適正就業基準が守られていなかった。貝塚伊吹の枝落としにチェーンソーを使用すべきではなかった。

・全シ協から

チェーンソーの使用は大きな事故につながるおそれがある就業と認識しており、以下の事項を遵守してください。

①現場を確認の上、樹高、樹太など周辺の環境等を確認して受注及び事務局による現場確認
②就業する会員全員が特別教育を受講
③複数人での作業
④保護帽・下肢の切創防止用保護衣、防振手袋の着用
⑤半径 2m以内には、誰も入らない、また、何もないように整理・整頓
⑥脚立や足場板を使用しての樹上での作業禁止
以上の安全が確保できない場合には、請け負うことはお控えください。

【重篤事故（一部抜粋）】

	性別等	仕事内容	事故の状況	安全帽	安全帯
1	男 71 歳	就業中 （死亡）	高さ約３ｍのムクゲ等を単独で剪定していて、脚立から落下し頭を強く打った。目撃者がいなかった為、原因は正確には判断できないが、防御姿勢をとる間もなく落下したものと推定される。	×	×
2	男 70 歳	就業中 （死亡）	空き家のマキの幹枝の伐採をするため、１名が脚立に登りチェーンソーにて伐採中、幹枝が作業者に接触し脚立から転落した。眼底骨折、肋骨骨折など。	〇	×
3	男 64 歳	就業中 （死亡）	舗装道路に面した高さ２、３ｍの生垣において剪定作業をするため脚立で作業中、落下してしまい死亡。	×	×

特別教育を受講していない会員はチェーンソーを使用しないでください